

決算前にチェック

～試算表と精算表～

講師
粕谷和生

前回学習した仕訳から勘定口座への「転記」にミスがないか、これをチェックするために作成するのが試算表です。試算表には「合計試算表」、「残高試算表」、「合計残高試算表」の3種類があります。今回は、試算表の作成方法と、残高試算表から損益計算書と貸借対照表を作成する手続きを1つの表にまとめて示す精算表について学習します。

調べておこう・覚えておこう

取引／仕訳／転記／
借方と貸方／当期純利益

なぜ、試算表をつくるの？

試算表とは、仕訳帳から総勘定元帳への転記が正しく行われているかどうか、これを確認するために作成する集計表で、「合計試算表」、「残高試算表」、「合計残高試算表」の3種類があります。前回学習した「仕訳の借方の金額 = 仕訳の貸方の金額」（借方と貸方は一致する）やすべての勘定の借方合計金額と貸方合計金額は必ず一致するという「貸借平均の原理」を利用して試算表は作成されます。

Key Word：貸借平均の原理

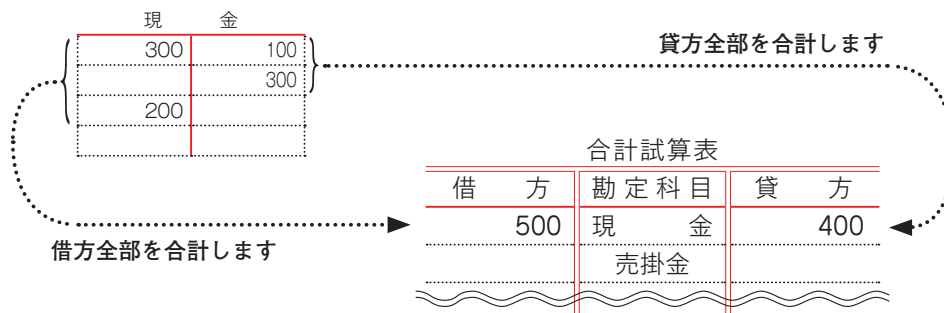
ポイント 転記にミスがないかどうかを確かめるために試算表を作成する。

試算表作成のコツ

合計試算表と残高試算表の作成のコツを学習しましょう。番組でのわたび～先生の説明をしっかりと聞いてください。コツがすぐにつかめます。

(1) 合計試算表の作成のコツ

合計試算表は、各勘定ごとに計算した借方合計金額と貸方合計金額を集計して作成します。下の図では現金勘定の借方合計金額 500 円と貸方合計金額 400 円を合計試算表に送っています。番組では、さかっち店長とわたび～先生がわかりやすく解説していますので確認しましょう。



問1 次の総勘定元帳の勘定記録によって合計試算表を作成しなさい。

□ 総勘定元帳 □

現 金				借 入 金							
5/1	資本金	600,000	5/2	備 品	250,000	5/31	現金	110,000	5/13	現金	150,000
13	借入金	150,000	22	買掛金	70,000						
17	諸 口	140,000	25	給 料	50,000						
20	諸 口	100,000	31	諸 口	111,000						
30	売掛金	80,000									
売 掛 金				資 本 金							
5/20	諸 口	90,000	5/30	現 金	80,000				5/1	現 金	600,000
商 品				商 品 売 買 益							
5/8	買掛金	300,000	5/17	現 金	110,000				5/17	現 金	30,000
			20	諸 口	150,000				20	諸 口	40,000
備 品				給 与							
5/2	現 金	250,000				5/25	現 金	50,000			
買 掛 金				支 払 利 息							
5/22	現 金	70,000	5/8	商 品	300,000	5/31	現 金	1,000			

! 総勘定元帳とは → 「すべての勘定口座を集めた帳簿」のこと！

合 計 試 算 表

平成〇年 5月 31日

借 方	勘 定 科 目	貸 方
	現 金	
	売 掛 金	
	商 品	
	備 品	
	買 掛 金	
	借 入 金	
	資 本 金	
	商 品 売 買 益	
	給 与	
	支 払 利 息	

ポイント 借方合計金額 = 貸方合計金額 ⇒ 転記ミスはない。

解答

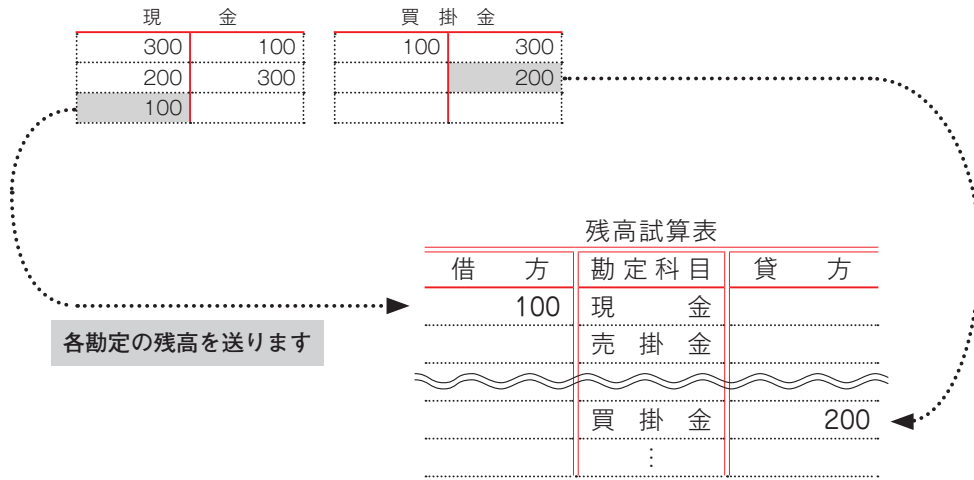
合計試算表
平成〇年5月31日

借方	勘定科目	貸方
1,070,000	現金	481,000
90,000	売掛金	80,000
300,000	商品	260,000
250,000	備品	
70,000	買掛金	300,000
110,000	借入金	150,000
	資本金	600,000
	商品売買益	70,000
50,000	給与	
1,000	支払利息	
1,941,000		1,941,000

(2) 残高試算表の作成のコツ

残高試算表は、各勘定の残高を集めて作成します。

残高は借方合計金額と貸方合計金額の差額です。下の図では、借方合計金額が500円で、貸方合計金額は400円ですから、その差額100円が現金勘定の残高となります。この場合、残高100円は借方側にありますので**借方残高**といいます。借方残高100円を残高試算表の**借方**に送ります。また、買掛金勘定の場合は、**貸方残高**200円ですから、これを残高試算表の**貸方**に送ります。



問2 [問1] で示した総勘定元帳の勘定記録から下記の残高試算表を作成しなさい。

借 方	勘 定 科 目	貸 方
	現 金	
	売 掛 金	
	商 品	
	備 品	
	買 掛 金	
	借 入 金	
	資 本 金	
	商 品 売 買 益	
	給 与	
	支 払 利 息	

ポイント 借方合計金額 = 貸方合計金額 ⇒ 転記ミスはない。

解答

借 方	勘 定 科 目	貸 方
589,000	現 金	
10,000	売 掛 金	
40,000	商 品	
250,000	備 品	
	買 掛 金	230,000
	借 入 金	40,000
	資 本 金	600,000
	商 品 売 買 益	70,000
50,000	給 与	
1,000	支 払 利 息	
940,000		940,000

精算表とは

精算表とは、残高試算表から損益計算書と貸借対照表を作成する手続きを、1つの表にまとめて示した計算表です。決算のあらましを前もって知りたい場合などに作成します。番組では、[演習2]の残高試算表をもとに精算表を作成します。番組では、さかっち店長とわたび～先生が作成手順を解説しますで確認しましょう。精算表の作成手続きは、次のとおりです。

- 手順① [問1] で作成した残高試算表から精算表の残高試算表に残高を書き写す。
 手順② 資産の勘定は貸借対照表欄の借方に、負債・資本の勘定は貸借対照表欄の貸方に書き写す（番組の中ではスライドさせてと言っています）。

- 手順③ 収益の勘定は損益計算書の貸方に、費用の勘定は損益計算書の借方に書き写す。
- 手順④ 損益計算書欄の合計額を計算して、その差額を当期純損益の行の金額が少ない側に記入する。差額の記入が借方側であれば当期純利益、貸方側であれば当期純損失となる。
- 手順⑤ 貸借対照表の合計額を計算して、その差額を当期純損益の行の金額が少ない側に記入する。損益計算書欄の当期純損益とは貸借反対に生じ、同一金額となることを確認して締め切る。

問3 上記の手順に従って精算表を作成しなさい。ただし、手順1は終わっているものとする。

精 算 表

平成〇年5月31日

勘定科目	残高試算表		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	589,000					
売掛金	10,000					
商品	40,000					
備品	250,000					
買掛金		230,000				
借入金		40,000				
資本金		600,000				
商品売買益		70,000				
給料	50,000					
支払利息	1,000					
当期純利益						
	940,000	940,000				

ポイント 損益計算書の当期純利益と貸借対照表の当期純利益は一致する。

解答

精 算 表

平成〇年5月31日

勘定科目	残高試算表		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	589,000				589,000	
売掛金	10,000				10,000	
商品	40,000				40,000	
備品	250,000				250,000	
買掛金		230,000				230,000
借入金		40,000				40,000
資本金		600,000				600,000
商品売買益		70,000		70,000		
給料	50,000		50,000			
支払利息	1,000		1,000			
当期純利益			19,000			19,000
	940,000	940,000	70,000	70,000	889,000	889,000